

陸前高田市市長選挙 2月3日投票

「市民の声」に結集し

党派をこえた市民の運動で

戸羽市政の継続へ 全力をあげます。

大震災津波から8年。辛いことや苦勞がたくさんありました。今回の市長選は、その経験を生かしてどんなまちをつくるのかが大きく問われる重要な選挙となります。

私たち日本共産党議員は、「市民の声」に結集し、党派をこえた市民のみなさんと力を合わせ、戸羽市政の継続のため、全力をあげる決意です。みなさん ともにがんばりましょう。

迎春

あけましておめでとうございませす。
本年もよろしくお願ひします。

市民みんなの大集会

1月20日(日)

午後6時30分

陸前高田市コミュニティホール

2019年の日程

2月3日

陸前高田市市長選・市議補選投票日

7月 参議院選挙

9月 陸前高田市議会議員選挙



伊勢 純議員



大坪涼子議員



藤倉泰治議員



紙 智子参院議員

12月議会報告② 一般質問から

伊勢 純議員

「リフォーム助成の実績と効果は？」

答弁

6年間で市内業者に11億4千万円の仕事に

伊勢議員は、平成22年市内の工事業者110名が署名し平成24年度に実施されている住宅リフォーム助成事業の実績と波及効果について質問。

阿部建設部長は、「6年間に369件、9,117万円を交付、主な工事は浴室、トイレ、台所等」と答え、波及効果については「市内業者に約11億4千万円の仕事になり、住宅関連産業に与える波及効果は大きい。また、交付される商品券はしない商店街で使用され地域経済活性化につながっている」と述べ、補助額の12.5倍の効果になっていることが明らかにしました。

●本市独自の住まいる助成事業

一般住宅にも被災住宅の補修改修も対象。合計50万円以上の工事費の20%補助(上限30万円)商品券で支給

大坪涼子議員

「これからも“やさしさ”を大切にしたまちを」

戸羽市長

がんばっている方々に光をあたるよう努めてきた

大坪議員は、「大震災津波から市民は辛い思いや、7年8年がまんしてきた。だからこそ、やさしさと助け合いが大切と思う」と述べ、総合計画への考えを質しました。

市長は、「就任2期目、がんばっている方々に光があたるように努め、具体的に、ふるさとタクシー助成事業、子育て応援事業や、中学生への医療費給付などを、語る会でのご意見、要望をもとに実施してきた」「総合計画でも“ノーマライゼーションという言葉のいないまち”の理念を大切にすると答えました。

●タクシー助成(矢作、横田、広田等の高齢者等が対象。月3千円分)●子育て応援(出生時3万円、小学入学2万円、中学入学時1万円)

藤倉泰治議員

「経常収支比率と本市の財政状況は？」

答弁

県内市の平均値の少し上。財政状況は心配ない

藤倉議員は、「平成29年度決算で経常収支比率が90%をこえ93.6%になっている。市民の間から『財政破たん直前』という声もある。本市の財政状況はどうか」と質問。

総務部村上幸司次長は、「経常収支比率4.7%増の要因は、平成27年度国勢調査の人口を反映した、普通交付税の大幅な減による要因が大きい」「県内市では釜石市の98%から遠野市の88.0%まで、平均値で92.0%であり、当市は平均値よりわずかに上回っている状況」「財政状況はまったく心配ない」と答弁。また、「引き続き、効率的な予算執行、経常経費の縮減に努めることにより、90%台前半の数値で推移する」と見通しを述べました。

日本共産党 陸前たかた民報

日本共産党陸前高田市委員会 ●高田町字西和野24-1 ●電話55-5512

2019年1月1日 第465号 ●icptakata@yahoo.co.jp ※日本共産党の活動をお知らせします。